

新町の名称について

1. 新町名称候補（第一次選考において選定された名称）

（1）名称の表記及びふりがな

（選定順）

表 記	ふりがな	備 考
浜坂町	はまさかちょう	
温泉町	おんせんちょう	
おんせん町	おんせんちょう	
湯の浜町	ゆのはまちょう	
湯の里町	ゆのさとちょう	

（2）名称の意味又は理由

別紙資料1のとおり

2. 新町名称の選定

（1）第二次選考

上記候補の中から、各委員がそれぞれ1点を推薦し、集計結果を参考に協議により決定

* 新町の名称 =

表 記	
ふりがな	

新町名称候補の名称の意味又は理由について

表 記	ふりがな	名称の意味又は理由
浜坂町	はまさかちょう	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統・歴史があり、今まで親しんだ名称である。 ・ 生まれ育ち、現在住んでいる町だから。 ・ 名称が美しい。 ・ JRの駅があり、県の庁舎がある。 ・ 愛着があり、誇りを持っているから残して欲しい。 ・ カニのまち浜坂の名前を存続していきたい。 ・ きれいな浜が4箇所あり印象的。 ・ 海が中心で、砂浜をイメージするから。 ・ 町名変更による経費を削減するため、一つの町名をそのまま残す。 ・ 海あり山ありの自然豊かな町だから。
温泉町	おんせんちょう	<ul style="list-style-type: none"> ・ ユニークで個性があり、話題性、インパクトがある。 ・ 全国唯一の固有名称で意味があり、すぐにイメージができる。 ・ 住民にも地域特性として認知されており、外国からも認知されやすい。 ・ 2町ともに良質の天然温泉があり、全地域の名称としてふさわしい。 ・ 現在住んでいる町だから残したい。 ・ 日本人は温泉が大好きで、わかりやすく、親しみやすい。 ・ 洋名(Hot Spring Town)をつけることで世界にイメージしてもらえる。これからは世界にアピールする必要がある。 ・ 温泉の持つあたたかいイメージは、温もりを感じさせ、人の心を癒す。 ・ 観光振興の為に最もPRしやすい名称。 ・ 昔からある資源を大事にして、未来に伝えていきたい。
おんせん町	おんせんちょう	<ul style="list-style-type: none"> ・ やさしさ、温もりのある中に夢と希望をふくらます。 ・ 2町に温泉があり、代表する名称にふさわしく、ひらがな表現で新しい町としたい。 ・ ひらがなの方が暖かみがある。 <p>注)その他、「温泉町」と同様の意味又は理由がありました。</p>
湯の浜町	ゆのはまちょう	<ul style="list-style-type: none"> ・ 温泉と海をシンプルに表現し、町のイメージとして分かりやすい。 ・ 両町の名前をとって、誰にも馴染みやすい。 ・ 響きがよく、名前を聞いてほのぼのとする。 ・ 湯村温泉の温もりと浜辺の涼でふるさとをイメージ。 ・ 日本海に面した温泉の湧き出る町。 ・ 湯にまつわる地域と日本海の浜のイメージを合体したもの。 ・ 湯村温泉、浜坂温泉、浜坂漁港、海岸のイメージ。 ・ 両町の名所を合わせた。 ・ 両町の暖かく、広いイメージを継承するため、「湯」と「浜」を使用。 ・ 湯村温泉は健康の里、浜坂温泉は海の資源を活用した町だから。
湯の里町	ゆのさとちょう	<ul style="list-style-type: none"> ・ 温泉を表す言葉が必要であり、まさに湯の里である。 ・ 両町に温泉が湧出し、町民の生活を潤し観光の目玉になっている。 ・ 両町ともに温泉の町で、すぐにイメージできる。 ・ 湯が湧き出ている暖かみのある町。 ・ 温泉とふるさとをイメージできる。 ・ やさしく、温もりのあるイメージを与えられる。 ・ 2町に共通する温泉(湯)を広くアピールでき、国民温泉保養地として確立できる。 ・ 山陰の暗いイメージを払拭できる。 ・ 町を紹介する場合、温泉をアピールできる。

* 名称の意味又は理由については、応募用紙等に記載された内容、趣旨等を要約して記載しています。